

2019年12月4日
丸紅株式会社

網膜画像を用いた AI による認知症診断技術の日本国内展開について
～カナダ Optina 社との日本市場向けビジネス構築に関するパートナーシップ締結～

丸紅株式会社（以下、「丸紅」）は、カナダ Optina Diagnostics（以下、「Optina 社」）と、Optina 社が保有する認知症の早期診断技術の日本市場展開に向けたビジネス構築に関するパートナーシップを締結しました。

カナダのモンリオールに拠点を置く Optina 社は、「脳の健康に関する既成概念を変える」というビジョンを掲げ、AI を用いた網膜イメージング技術に強みを持つ企業です。

AI を活用した独自の技術「Retinal Deep Phenotyping Platform（レティナル・ディープ・フェノタイピング・プラットフォーム）」により、患者の網膜画像の特徴からアルツハイマー病およびその他認知症の早期発見を可能にする製品を開発しています。

2025 年までに日本人の高齢者の 5 人に 1 人が認知症を発症し、アルツハイマー病がその 3 分の 2 を占めると推計されており、日本におけるアルツハイマー病の問題は、今後高齢化社会が進むにつれて益々拡大していくことが予想されています。

現在、アルツハイマー病を完治する治療法はありませんが、患者自身が認知症を自覚し、ライフスタイルを変えることにより症状の進行を遅らせることができるため、アルツハイマー病の早期発見は極めて重要です。この観点から、Optina 社の技術は、認知症患者の QOL（Quality of Life：人生や生活の質）の向上に寄与する技術と言えます。

本パートナーシップの締結は、ヘルスケア関連分野での AI 技術の活用を進めている丸紅と、日本市場への早期参入を目指している Optina 社の意向が合致し、実現したものです。丸紅は、Optina 社が開発した Retinal Deep Phenotyping Platform の本邦への導入に向けて、関係当局への承認申請プロセスのサポートや、認知症のオピニオンリーダーとの連携サポートを行います。丸紅と Optina 社は高精度で非侵襲的な検査技術を市場に投入し、日本が直面する高齢化社会の課題解決に貢献していきます。

※なお、Optina 社が保有する認知症の早期診断技術は 現在、日本にて未承認です。

【Optina 社概要】

会社名 : Optina Diagnostics (オプティナ社)
本社 : カナダ・ケベック州モンリオール
設立 : 2014 年
事業内容 : AI 技術を活用した認知症の早期診断技術の開発、サービス提供。
URL : <http://optinadx.com/>

以上